

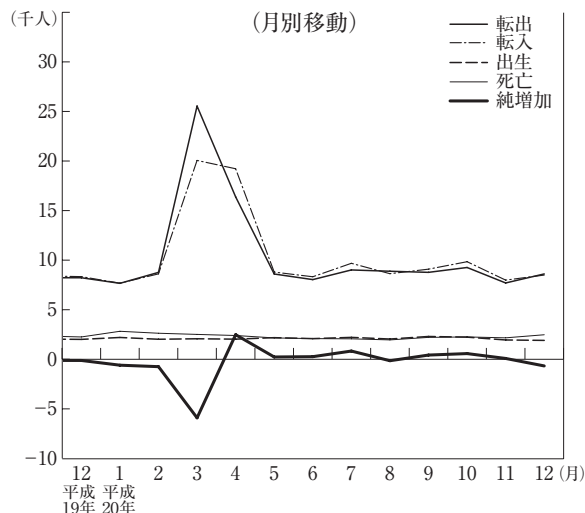
## 今月の主な動き

### ■人口 (21年1月1日現在)

#### 12月の概況

推計人口 2,968,345人 (対前月 △679人)  
 (男 1,476,598人, 女 1,491,747人)  
 〈内訳〉 自然動態 △565人  
 (出生 1,879人 死亡 2,444人)  
 社会動態 △114人  
 (転入 8,423人, 転出 8,537人)  
 世帯数 1,077,680世帯 (対前月 204世帯)

### 人 口



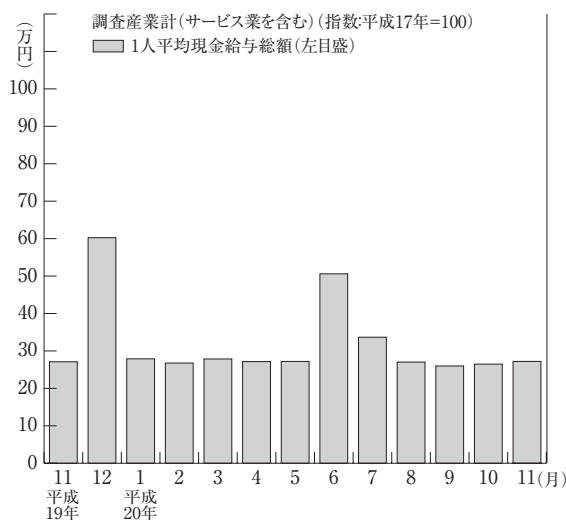
### ■賃金・労働時間・雇用 (20年11月)

現金給与総額 272,000円 (0.4%)  
 きまって支給する給与 257,512円 (△3.0%)  
 特別に支払われた給与 14,488円

総実労働時間 146.2時間 (△5.5%)  
 所定内労働時間 135.0時間 (△5.7%)  
 所定外労働時間 11.2時間 (△4.3%)

※ 事業所規模5人以上, ( )内は前年同月比。

### 賃金・労働時間・雇用



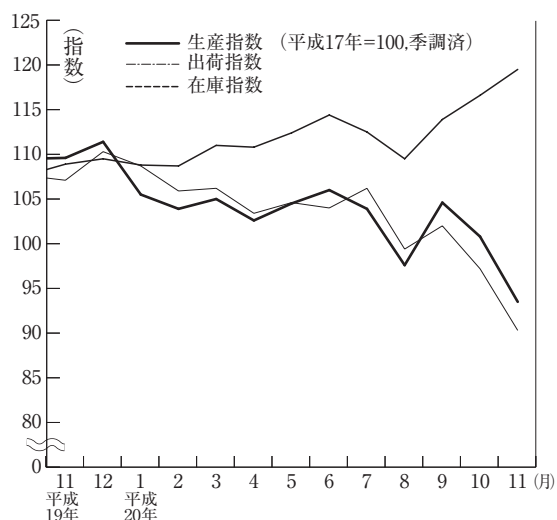
### ■鉱工業指数 (20年11月) (季調済, H17年=100)

生産 93.5 (前月比 △7.2%, 前年同月比 △17.6%)  
 上昇…情報通信機械工業, 食料品・たばこ工業等  
 低下…一般機械工業, 電子部品・デバイス工業, 鉄鋼業等

出荷 90.3 (前月比 △7.1%, 前年同月比 △19.3%)  
 上昇…石油・石炭製品工業, 情報通信機械工業等  
 低下…一般機械工業, 電子部品・デバイス工業, 鉄鋼業等

在庫 119.5 (前月比 2.5%, 前年同月比 9.7%)  
 上昇…化学工業, 窯業・土石製品工業, 電子部品・デバイス工業等  
 低下…一般機械工業, 石油・石炭製品工業等

### 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉



● 今月の主な動き ● ● 今月の主な動き ●

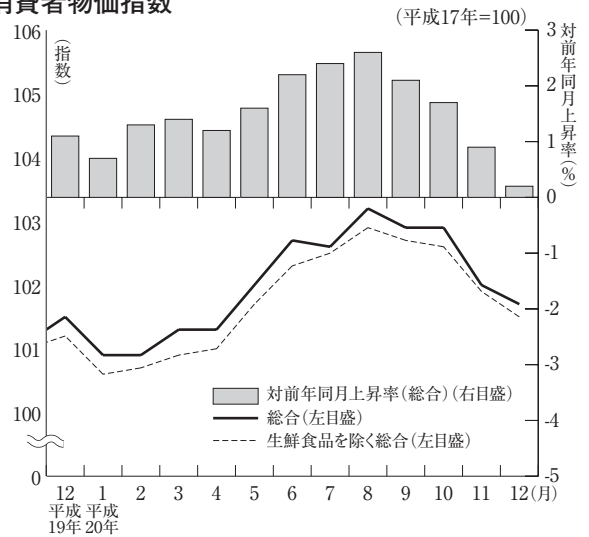
■ 消費者物価指数 (20年12月) (県平均, H17=100)

総合 101.7 (前月比 △0.3%, 前年同月比 0.2%)

上昇した項目…生鮮野菜, 教養娯楽サービス

下落した項目…自動車等関係費, 教養娯楽用耐久財, 灯油  
生鮮食品を除く総合 101.5 (前月比 △0.4%, 前年同月比 0.3%)

消費者物価指数

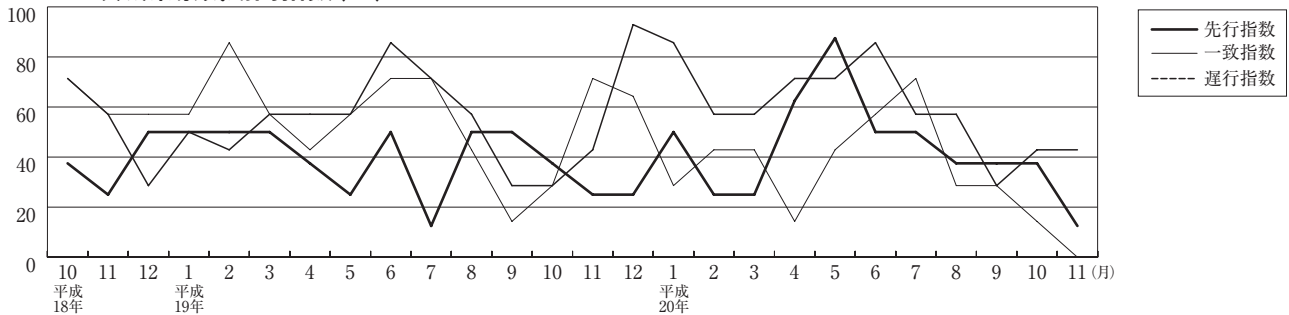


■ 費目別指数

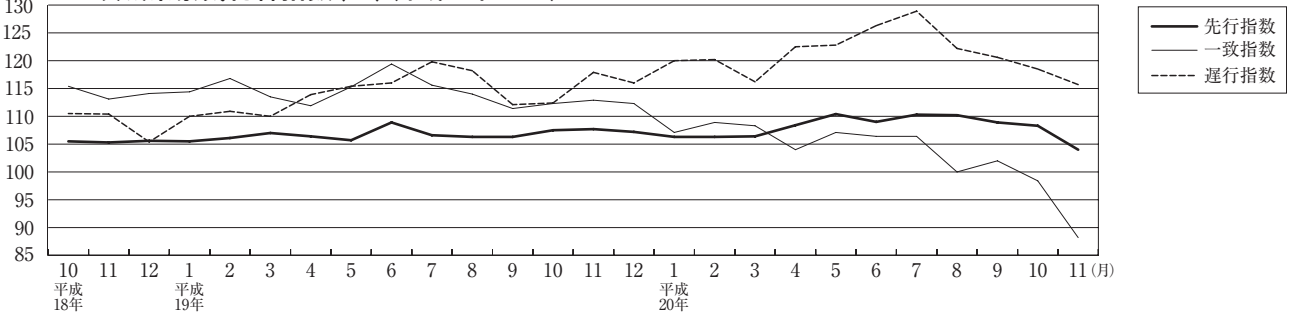
区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総合	101.7	△0.3	0.2	保健医療	101.2	△0.3	△1.9
食料	105.6	0.5	3.1	交通・通信	96.9	△1.9	△5.3
住居	100.1	0.0	0.1	教育	103.1	0.0	1.6
光熱・水道	110.9	△1.2	3.3	教養娯楽	96.9	0.1	△0.7
家具・家事用品	96.1	△0.4	1.2	諸雑費	101.4	△0.2	△0.3
被服及び履物	105.9	△1.3	0.1	生鮮食品を除く総合	101.5	△0.4	0.3

■ 景気動向・総合指数 (20年11月)

茨城県景気動向指数 (DI)



茨城県景気総合指数 (CI) (平成17年=100)



《 景気動向指数 (DI) 》

先行指数 12.5% (確報値)

一致指数 0.0% (確報値)

遅行指数 42.9% (確報値)

11月の景気動向指数の一致指数は、4か月連続50.0%を下回った。これは、「有効求人数」が8か月連続マイナス、「鉱工業生産指数」、「投資財出荷指数」及び「機械工業生産指数」が4か月連続マイナス、「茨城県管内輸入額」が3か月連続マイナス、「大口電力使用量」が2か月連続マイナス、「百貨店販売額」がプラスからマイナスとなり、7系列全てがマイナスとなったためである。

一方、経済部門別にみると、労働関連の指標は、採用している5系列(「所定外労働時間」、「新規求人数」、「有効求人数」、「雇用保険初回受給者数」及び「常用雇用指数」)全てがマイナス、物価関連の指標は、採用している2系列(「日経商品指数(17種)」及び「茨城県消費者物価指数」)ともマイナスとなった。

《 景気総合指数 (CI) 》 (H17=100)

先行指数 104.0 (確報値) 対前年同月比 △ 3.4%

一致指数 88.2 (確報値) 対前年同月比 △21.9%

遅行指数 115.7 (確報値) 対前年同月比 △ 1.9%